

第四次男女共同参画推進計画(案)のビジョン・視点

第四次男女共同参画推進計画(案)のビジョン・視点について

- ✓新宿区では、平成30(2018)年3月、「新宿区総合計画(2018～2027)」を策定しました。
- ✓総合計画の基本施策I、個別I-7に男女共同参画推進計画と関連するめざすべきまちの姿・状態が示されています。
- ✓第四次男女共同参画推進計画(案)は、現行計画(第三次男女共同参画推進計画)と同様、総合計画との整合を図りつつ、男女共同参画のさらなる推進により、めざすべきまちの姿・状態を実現することが重要です。
- ✓こうした観点から、第四次男女共同参画推進計画(案)のビジョン・視点は、現行計画を踏襲するものとします。

新宿区総合計画(2018～2027)

基本施策I 暮らしやすさ1番の新宿

個別施策I-7 女性や若者が活躍できる地域づくりの推進

<めざすべきまちの姿・状態>

誰もが人として尊重され、性別にかかわらず自分らしく生きることができるとともに、多様な働き方を選択でき、生きがいのある豊かな日々の暮らしが調和したワーク・ライフ・バランスが実現するまちをめざします。

また、お互いに人権を尊重し、配偶者等からの暴力のない社会の実現をめざすとともに、学校や職場等の社会生活でつまづきを経験した若者が何度でもやり直しながら社会の中で活躍でき自分らしく生活できるまちをめざします。

第四次男女共同参画推進計画(案)

【ビジョン】

誰もが個人として尊重され、自分らしく豊かに生活できるまち新宿

【3つの視点】

- ①誰もが個性と能力を十分に発揮できるまち
- ②多様なライフスタイルが実現し、あらゆる場面で男女が公平に参画できるまち
- ③あらゆる暴力のない尊厳をもって暮らせるまち